

Heroldo de HEL

N-ro 102 · aprilo 2005

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

ĉe HOŜIDA Acuŝi

〒053-0844

Mijanomori 2-18-18, TOMAKOMAI

苫小牧市宮の森2丁目18-18 星田 淳 方

053-0844 JAPANIO

- Kovrilpaĝo, Enhavo: 表紙・目次 P. 1
- HELメルマガ 1000部突破! 現状報告 P. 2
Retgazeton de HEL legas pli ol cent!
- 春の富良野市山部、連盟発祥の地へ! HEL 5月合宿/Ek al Jamabe
printempa, naskigloko de nia Ligo! - Maja Kunloĝado de HEL P. 3
- Popola rakonto de la loka lingvo Platdiĉa(Plattdüütsch)
"La troglodito" P. 4
[De Tuunkrüper/'n neddersassisch (nedderdüütsch/plattdüütsch)]
- Danke ricevitaj - 受領郵便物 P. 6
- 第69回北海道エスペラント大会計画 P. 7
Plano de la 69-a Hokkajda Kongreso de Esperanto
- 札幌エスペラント会通信 Novajxo de Sapporo-Esperanto-Societo
Ges-roj SENEAL el Francio, 入門講習-Printempa Kurso
- 苫小牧エスペラント会も2005「春のあちこち講習会」に参加 P. 8
Ankaŭ Tomakomaja Societo partoprenos Printempan Kursaron
- [第2回委員会報告] Protokolo de la 2-a Komitata Kunsido
- 編集後記 Redaktanto parolas

HELメルマガ 1000部突破! 現状報告

Retgazeton de HEL legas pli ol cent!

HEL広報部

2005年2月25日で第77号になったメールマガジン「国際共通語 エスペラント Lingvo internacia, Esperanto」ですが、ついに1000部を突破しました。皆様のご協力に感謝いたします。

このメールマガジン(略してメルマガ)は、入門講座を中心に、読者の声、北海道を含めた日本中のエスペラント活動・各種大会の記事などを載せている電子メール形式の電子雑誌です。入門講座は発刊以来1年(4月~3月)区切りで反復していましたが、77号からは練習問題を登場させ、読者の反応を期待しています。特にこういうものを取り上げて欲しいというものがあれば検討しますので、メールを送ってください。(hokkaido_esp_ligo@yahoo.co.jp)

皆さんの意見も取り入れて充実したメルマガを作っていきたいと考えています。

皆さんのメールや掲示板のカキコミの内容を盛り込みながら、エスペラント講座だけでなく、インターネットの特性をいかした双方向の読者参加型の充実したメルマガにしたいと考えています。エスペラントを使ったホームページ等の紹介や文通紹介も受け付けます。

自薦、他薦何でもかまいませんので、是非、このエスペラントのページをメルマガで紹介して欲しいとか、「エスペラントでの文通を求む」というのをメルマガで紹介して欲しいというのであれば、簡単な紹介文をつけて、メールや掲示板のカキコミでご連絡ください。

このメールマガジンやエスペラントについての質問、ご意見等ございましたら、遠慮無くメールや掲示板に投稿してください。日本語でもエスペラントでもかまいません。気楽にお越しください

なお、メールマガジンの登録/解除につきましては、以下のようになっています。

<http://www5d.biglobe.ne.jp/hel/jp/index-j.htm>

のメールマガジンの登録/解除からも行けますが、

<http://www5d.biglobe.ne.jp/hel/jp/mailmag/mailmag.htm>

1 まぐまぐ (ID : 0000024895)

■まぐまぐ 登録解除

<http://www.mag2.com/m/0000024895.htm>

などへ行き、メールアドレスのところに入力して、

登録ボタンを押してください。

解除する時は、メールアドレスを入力して、解除ボタンを押してください。

発行は月刊、月の最後の金曜日に、登録されたメールアドレスに配信されます。

春の富良野市山部、連盟発祥の地へ！ HEL 5月合宿

Ek al Jamabe printempa, naskiĝloko de nia Ligo! - Maja Kunlogado de HEL
エスペラント普及会北海支部 (EPA-HF)
北海道エスペラント連盟 (HEL)

次のように計画いたしました。多くの方の参加をお待ちします。

[エスペラント5月合宿日程]

開催日—2005年 5月14日 (土) PM—13:00

2005年 5月15日 (日) 正午迄

場所—大本北海本苑内 (富良野市山部町)

北海道エスペラント連盟(HEL) とエスペラント普及会北海支部 (EPA-HF) 合同で

参加費—HEL 会員、一般エスペランチスト—3000円

EPA 支部員、入門クラス参加者 —お玉串程度 (3000円程度)

講師—入門クラス—佐藤英治、

中級クラス—星田淳

プログラム

5月14日 (土) PM—13:00—受付

13:30~15:50・学習開始

16:00~16:50・両クラス合同学習

17:00~EPA は夕拝, HEL は自由学習

17:30~夕食

18:00~19:50・学習

20:00~21:30・バンケード

22:00~就寝

5月15日 (日) AM—6:30・起床

7:00—EPA は朝拝, HEL は苑内散策

7:40 朝食

8:30~10:45・学習

11:00~11:50エクソクルソ

12:00~解散

申し込み、問い合わせは次へどうぞ

HEL事務局長 佐藤英治: TEL-FAX:0144-58-2178

メールアドレス; zamenhof@ka2.so-net.ne.jp

EPA 佐藤不二雄: TEL-FAX:0134-27-2567

メールアドレス: kin-1@mrj.biglobe.ne.jp

[中級講師より] Parolas HOSIDA Acusi:

学んで何年もたったら、使わねば宝の持ち腐れ、使ってみましょう。まず自分を表現する。簡単な自己紹介を考えてきてください。完全にできてなくても結構。みんなで作ります。それから少し会話へ発展。文通申し込みがたくさんありますが、返事を書いてみませんか。この頃はメール交信が多くなりました。この合宿のことを書きませんか。時間があれば、こんなことをやりたいな、と考えます。

Popola rakonto de la loka lingvo Platdiĉa(Plattdüütsch)

" La troglodito "

[De Tuunkrüper/ ' n neddersassisch (nedderdüütsch/plattdüütsch)]

低地ザクセン (サクソン) 語 (低地ドイツ語) の民話: 「ミソサザイ」

YOKOYAMA Hiroyuki, HOŞIDA Acuŝi

低地ドイツ語(Platdiĉa Lingvo) の民話を、次のRetejo(=TTT-ejo, ウェブサイト) に出ている和文、英文テキストを参照してエスペラント訳してみました。

Japanese Translation by Reinhard F. Hahn, Seattle, USA, and Tomoko

Kurata Gautier (蔵田智子), Chatillon, France

<http://www.sassisch.net/rhahn/low-saxon/japan.htm>

English Translation (USA) by Reinhard F. Hahn, Seattle, USA

Canadian English Translation by Ed Alexander, Hamilton, Ontario, Canada

<http://www.sassisch.net/rhahn/low-saxon/ls-story.html>

[以下、和文、エスペラント文の順に記述します]

ヨーロッパ評議会の「少数・地域言語のためのヨーロッパ憲章」を受け入れる際の声明 (1998年1月23日) において、ドイツ政府は、北ドイツ一帯に広く分布する低地ドイツ語を独自の「地域言語」として認知しています。

En la deklaro (en la 23-a de januaro 2005) ĉe akcepti 'Eüropan Carton por plimalgranda kaj loka lingvo' de Eüropa Konsilantaro, la registaro Germanio rekonis la lingvon Platdiĉan uzatan vaste en la zono Nord-Germanio kiel la unikan lokan lingvon.

ミソサザイ

La troglodito

ミソサザイの巣は車置き場の中にありました。ある日のこと、親鳥二羽とも、子供たちのために食べ物を取ってこようと外へ飛び立ち、小さな雛鳥だけが巣に残されました。

Troglodito havis sian neston en la remizo. Iam la paro ambaŭ flugis eksteren por kapti manĝaĵojn por la idoj, lasitaj solaj en la nesto.

しばらくして、ミソサザイの父親が巣に戻ってきました。

Baldaŭ la troglodita patro revenis hejmen.

「なにがあったんだ？」と父親は聞きました。「子供たち、おまえたちに悪いことをしたのは、誰なんだ？ どうしてそんなに怖がっているんだ？」

"Kio okazis ĉi tie?" li diris. "Kiu minacis vin, infanoj?"

Estas vi ĉiuj timigitaj!"

「ああ、パパ」と子供たちは言いました。「大きなおばけみたいなものが、今さっきやってきたんだ。すごく獰猛で恐ろしい顔をしてたんだ！ おおきな眼で僕たち

の巢を覗んだんだよ。ぼくたち、とっても怖かった！」

“Ho, paĉjo,” ili diris, “jus venis granda fantomaĉulo. Ŝajnas, ke li estas tre sovaĝa kaj terura! Li fiksrigardis nian neston per siaj okul-egoj. Nivere timis tion!”

「そうか、わかった、そいつはどこに行ったんだ？」と父親が言いました。

“Mi komprenas,” la troglodita patro diris, “Kien li iris?”

「ええと、あっちの方へ行った」と子供たちが答えました。

“Nu” ili diris, “li iris for tiudirekten.”

「待っておいで」と父親が言いました。「そいつを追いかけて行ってやる。心配しなくていいんだよ、子供たち、お父さんがそいつをつかまえてやるから」父親はそう言って、飛び立って行きました。

“Atendu!” la troglodita patro diris, “Mi volas serĉi lin. Ne plu ĝenu vin, infanoj. Mi volas kapti lin.” Post tio li flugis post li. 親鳥が道の曲がり角まで来てみると、そこを歩いているのはライオンでした。

Kiam li venis ĉirkaŭ la kurbigo, troviĝis leono, kiu marŝis laŭ la vojo. ミソサザイはライオンを怖れませんでした。ライオンの背中に舞い降りて、「何の用があってうちに来て子供たちを怖がらせたりしたんだ?!」とライオンを叱り始めました。

Sed la troglodito ne timis. Li surdorsigis al la leono kaj ekriproĉis lin. “Kial vi venis mian hejmon,” li diris, “kaj teruri miajn infanojn?!”

ライオンは知らぬ顔をして歩き続けました。

La leono ne atentis ĝin kaj marŝadis.

そこでこの小さな鼻柱の強い鳥は、ライオンを一層激しくなじりました。「おまえはこんなところに来る理由はないんだ、わかったか!もし、またやって来るようなことがあったら、目にもものを見せてやる!こんなことは本当はしたくないんだが」と言いながら、親鳥は片脚を挙げました。「それでも、またやって来たら、この脚であつという間におまえの背中をへし折ってやる!」

Pro tio la ĝena uleto riproĉis lin pli sovaĝe. “Vi havas nenian rezonon esti tie, mi diras al vi! Kaj se vi venos refoje,” li diris, “nu, do vi sciigos! Mi vere ne volas fari tion,” li diris kaj fine levis sian unu kruron, “sed tiam mi tuj rompos vian dorson per mia kruro!”

そう言って親鳥は巢に飛んで帰りました。

Post tio li flugis reen al sia nesto.

「さあさあ、子供たち、もう大丈夫だよ。あいつにはよく言い聞かせてやったからね。もう戻ってくることはないよ。」と父親は言いました。

“Jen estu trankvilaj, infanoj,” li diris, “mi sincere admonis lin. Li neniam revenos.”

Danke ricevitaj —受領郵便物— (星田淳 扱い—読みたい方はご連絡下さい)

*アイヌタイムズ第31号日本語版、
2004年12月29日; A4 X4 頁、日本語。
「アイヌ語ペンクラブ」発行。トピックスに横山裕之 (HEL) の寄稿。

*第3回強制連行・強制労働犠牲者を
考える北海道フォーラム ご参加・宣
伝のお願い (フォーラム共同代表より)

2005年2月20日 日本願寺札幌別院 (西本
願寺別院: 中央区北3条西19丁目)

*Novajoj Tamtamas: N-ro 200, Janu-
aro 2005, JER (Jokohama Esperanto-
Rondo), A4 X4 頁、全文 E. Mia silk-
voja vojaĝo en 2004(2) - KOYAMA T と
La somera sperto en Ĉinio (YAMASAKI
Masaru) は北京 UK の Postkongreso
の報告。

*PONTETO: Januaro 2005 N-ro 210: 関
東エスペラント連盟 (ELK): B5 X 12 頁の
うちエスペラント文 3 頁は Marto en
Finlando (Saliko)。

*La Tamtamo: 第 365 号 (2005 年 2 月),
A4 X 12 頁、JER 発行 (総会特集号)、
日本語。JER は今年 10 年ぶりの日本
大会の年。

*センター通信: 2005 年 2 月 7 日, 第
242 号、名古屋エスペラントセンター、
B5 X 8 頁、のうちエスペラント文は
Stefan Maul からのメッセージ 10 行。

*受講生通信 第 99 号, 2005-03-01,
沼津エスペラント会, B5 X 16 頁のうち
エスペラント文は講座修了者の挨拶な
ど計約 3 頁。チラシ 2 種類同封。①

「エスペラントと私」の原稿募集、②
第 38 回エスペラントセミナーオ

*センター通信: 2005 年 3 月 19 日, 第

243 号、名古屋エスペラントセンター、
B5 X 8 頁、日本文。「東南アジアを旅
して (鈴木善彦)」はアジア大会延期
のため計画変更、ホーチミン市の戦争
博物館で由比忠之進関係の展示に出会っ
たことなど。

*Mejlŝtono 2005 marto N-ro 188,
仙台 E 会: B5 X 8 頁の内 Esp 文 1 頁。国
際母語の日 (2 月 21 日) の歴史の説明。
毎年記事は見ていた山形のスキー
合宿、今年で第 30 回という。参加者
(8 名) は多くはないが、継続は力!

*NOVA VOJO: N-ro 405 marto 2005,
EPA (エスペラント普及会)、A5 X 32
頁中 E 文 8 頁。会員名に近藤亀寿、中
嶋義明、関川勝 (北海道)。裏表紙内
側に海外特派員 (実は現地在住の通信
員) 14 人の写真。

*La Movado; KLEG (関西エスペラント
連盟) 発行、N-ro 649 mar. 2005, B5
X 20 頁中 E 文 約 4 頁。Salono に "シ
ベリアの「エスペラントの墓守」"
Heroldo の前号 (101 号) に出た道新
の短歌のこと。

*La Movado; KLEG 発行, N-ro 650 apr.
2005, B5 X 20 頁中 E 文 2 頁弱。「長谷
川テルに関する文献案内」が 1 頁ある
が、567 号 (1998 年 5 月号) に出たも
のの追加分。

*NOVA VOJO: N-ro 406 aprilo 2005,
EPA, A5 X 32 頁のうち E 文 約 11 頁。
入門から文法 (E 文) まで、学習、講
座が 14 頁を占め、発音をかなだけで示
す講座もある。普通会员に加藤美恵
(北海道) の名。

第69回北海道エスペラント大会計画

Plano de la 69-a Hokkajda Kongreso de Esperanto

(HEL委員会(4月)で討議します)

今年は登別の鉾山あとの研修施設で。次のように会場の仮予約が取れました。

[日時] 10月29日正午から

10月30日16時まで

[場所] 登別ネイチャーセンター=ふおれすと鉾山

(宿泊棟、浴室、食堂、研修室〈和室〉、ホールあり)

059-0021登別市鉾山町8

TEL. (0143) 85-2569 Fax (0143) 81-5808

(車で札幌から高速で2時間。JR幌別駅から15分。バスは出ていませんので個人の自家用車、又はタクシーを相乗りすることになりますが。)

[費用]

一人4000円(宿泊費、食費〈30日の朝と昼〉、宴会費〈29日晚。酒代を含む。常識範囲で。足りない分は各自持参〉。食事は自炊が原則となっていますが当食事時間に間に合うよう私と家内で用意します。—Ges-roj 椿)

一人頭4000円の算定は10人以上の宿泊を想定しました。尚、大会記念品などを出すならば、其の費用も加算することになるでしょう。

札幌エスペラント会通信 Novajxo de Sapporo-Esperanto-Societo

——Korespondado de SES(SES 通信#27) 05/04/10

Saluton! SESanoj

◆フランスから山岸さんの友人ご夫妻が来札し、4日間滞在します。SES では日程を以下の予定にしています。

4/26(火) 盛岡から列車で到着、山岸宅泊

27(水) 午後1時半から歓迎会、かでの2・7、530号室

午後4時から会食、KKR 2階マイヨール 会費2000円

28(木) 徒歩で市内案内、時間場所などは山岸さんに問い合わせてください、TEL=511-2457

29(金) 郊外案内(車で大倉山、開拓記念館など)

ご夫妻のプロフィール紹介

フランス北部(パリ北西部) Kalvados 縣在住。奥様は名をgigi といい65歳、ご主人はGérard SENEAL 63歳、お二人とも義務教育課程の教師。今はE-istoj に会うのを楽しみにしてをり、新しい友人と話し合うのは最高。城、教会、寺社・仏閣、美術館を訪ねたり、大自然に親しみたい。だが何より大切なことは、その国の人々と会い、知らない民族の生活・習慣を知ること。教育について話し合うのも私たちの興味の一つと、いっています。

なおその後お二人は4月30日帯広へ向かい S-ro 沢谷雄一 を訪問、

5月2日には仙台を経由、東京へ向かうとのことです。

◆入門講習

しばらく行われなかった入門講習を再開します。これは日本E運動100周年記念事業の一環でもあります。毎週土曜日、計13回。テキストはLa Unua libroを使います。

日時 4月16日 PM1時30分から2時間

場所 かでる2・7、中央区北2条西7丁目

費用 資料代、会場費等として5000円

苫小牧エスペラント会も2005「春のあちこち講習会」に参加

次の形で参加いたします。

とき：5月17日から毎週火曜日18時30分から

ところ：苫小牧市文化交流センター

受講料：全期間（半年分教材費とも）2000円

〔第2回委員会報告〕

日時：2005年 2月 5日18時～

場所：札幌市北8西3 エルプラザ2F

札幌市民活動サポートセンター 会議コーナー

出席：後藤、佐藤英治、佐藤不二雄、椿、星田、宮沢、横山

（傍聴）近藤、松葉

欠席：天形、大山口、須藤、Anikejev、阿部、樺山

議事：

*組織、財政：とくに報告事項なし

*広報：ホームページ閲覧、当日現在 41676件、メルマガ 1\28 現在 973部
メルマガに練習問題を出す（椿）

*教育・研究：札幌(SES)、苫小牧の状況従来通り。SES は入門講習の準備中。
登別では成人1人と小学生3人が学習中。EPA はパンフ配布、1月から札幌
センターで入門講習。椿から Lernu.netの日本語訳 Volontuloのよびかけ

*図書：未整理。今年中に在庫目録を作りたい。松葉に引き継いでもらう。

*機関誌：12月 100号を発行、2月 102号を出す。原稿はあったので、作業する人がいれば、思ったほど大変ではなかった。

*年間計画：5月合宿、北海道大会について計画説明（本号に別記事）

極東ロシア訪問団の件、宮沢から連絡する。（この後星田宛にロシアから来た連絡は他の委員に転送した）

*社会活動：Indigenaj Dialogojの機関誌 Tamamoは現在停滞している。

*次回委員会：4月9日18時、当 市民活動センター

編集後記/Redaktanto parolas

”この号は薄いな”と言われるでしょう。この少し前に出ている委員会報告で、（隔月刊でも）「大変ではなかった」と豪語（！）しましたが、原稿と協力者があったからの話。大会記事、ロシアからの原稿など、手持ちを使い尽くしたのに原稿を集める努力が不足した結果です。その反省を踏まえて、皆さんに寄稿や提案をお願いします。いいアイデアやテーマをお持ちの方、また「こんなものを読みたい」というヒントでも、気軽にお寄せください。連盟や機関誌のあり方についてのアンケート、近く実施し、「読まれる Heroldo」にいたします。 H.a.